

## 調査の概要

## 瀬戸市の結果

### 1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査の対象 小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒

### 3. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題

#### (2) 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

### 4. 調査方式 悉皆調査

### 5. 調査日時 平成30年4月17日(火)

## 教科に関する調査 結果報告

## 小学校

### 瀬戸市内小学校の「成果 (◎)」と「課題 (▲)」

平均正答率 (%)	全国	愛知県	瀬戸市
国語A (知識)	70.7	68	◎相手や目的に応じ、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことはできている。 ▲文や文章の中で、漢字を正しく使うことに課題がある。
国語B (活用)	54.7	52	◎計画的に話し合うために、立場や根拠について捉えることはできている。 ▲目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことに課題がある。

算数A（知識）	63.5	61	◎異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解することはできている。 ▲二つの数量関係を理解し、数直線上に表すことに課題がある。
算数B（活用）	51.5	50	◎規則性を解釈し、条件に合う事柄について、適切に判断することはできている。 ▲日常生活の事象を、図形の構成要素や性質を基に観察し、図形を判断することに課題がある。
理科（知識・活用）	60.3	58	◎二つの異なる方法の実験結果を分析して考察することはできている。 ▲電流の流れ方について、結果を予想し、それを見通して実験を構想できることに課題がある。

## 教科に関する調査 結果報告

## 中学校

### 瀬戸市内中学校の「成果（◎）」と「課題（▲）」

平均正答率（％）	全国	愛知県	瀬戸市
国語A（知識）	76.1	76	◎文脈に即して漢字を正しく書くことはできている。 ◎目的に応じて文の成分や構成を考えて適切な文を書くことはできている。 ▲四字熟語の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。
国語B（活用）	61.2	61	◎目的に応じて話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら話すことはできている。 ▲話の展開を整理して、あらすじをまとめることに課題がある。
数学A（知識）	66.1	69	◎正負の数、文字式、方程式の計算をしたり、それを利用したりすることはできている。 ▲証明の必要性和意味を理解していることに課題がある。
数学B（活用）	46.9	49	◎与えられた情報を整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることはできている。 ▲証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことに課題がある。

理科(知識・活用)	66.1	68	◎食塩の濃度を比較したり、オームの法則を使って抵抗の値を求めたりすることはできている。 ▲探求の過程を振り返り、新たな疑問をもち、問題を見いだすことに課題がある。
-----------	------	----	--

各教科で課題として挙げた内容と、市内各校での分析結果をふまえ、今後も児童生徒の興味関心を高めながら、実生活で活用できる基礎的・基本的能力の確実な定着を目指していきます。

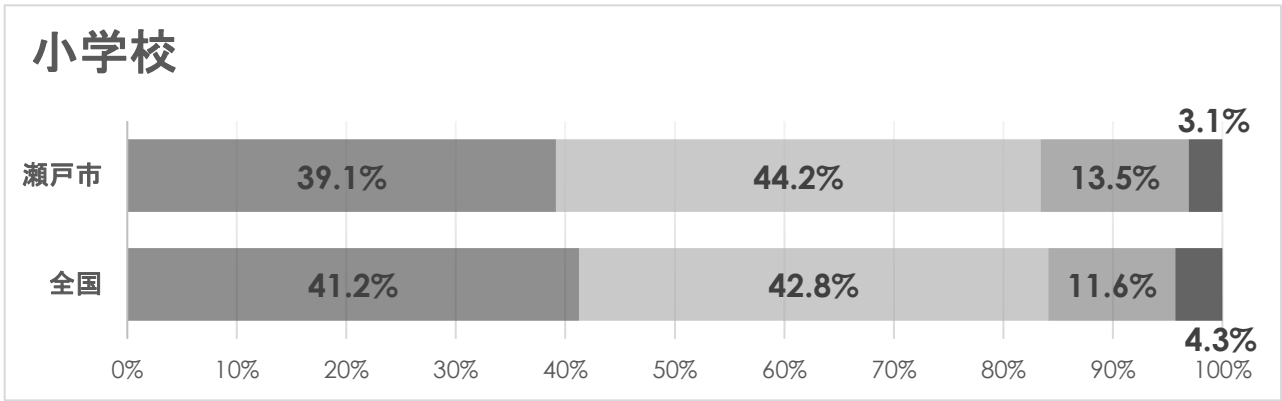


## 生活及び学習習慣に関する調査 結果報告 小中学校

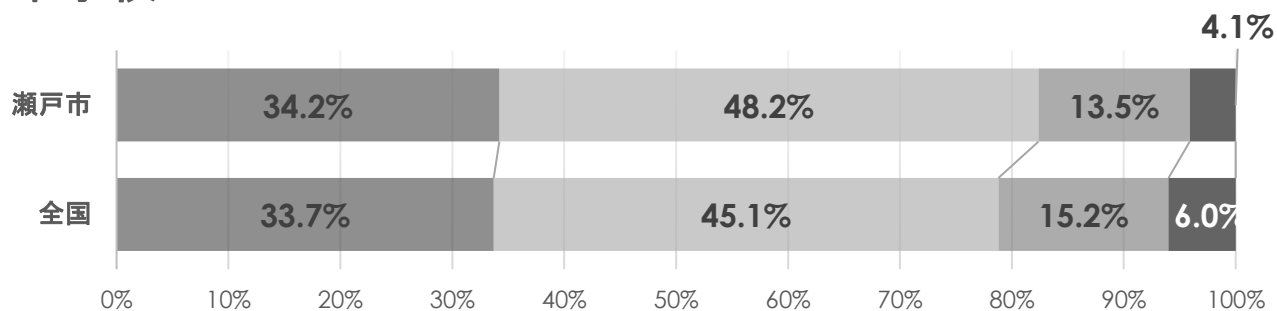
★グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

### 子供達の意識

◇自分には、よいところがあると思いますか

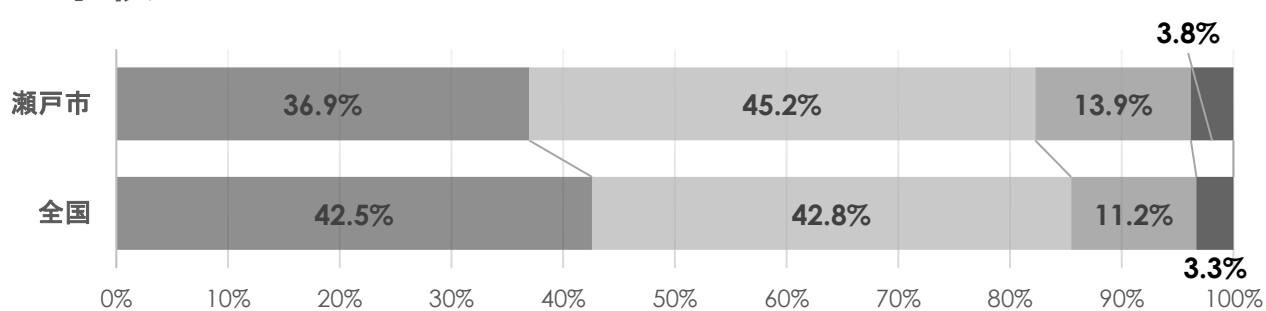


## 中学校

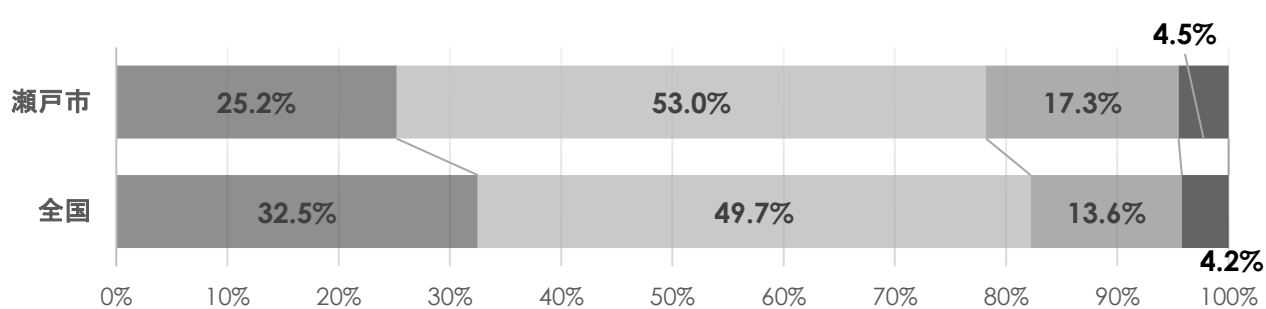


◇先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

## 小学校

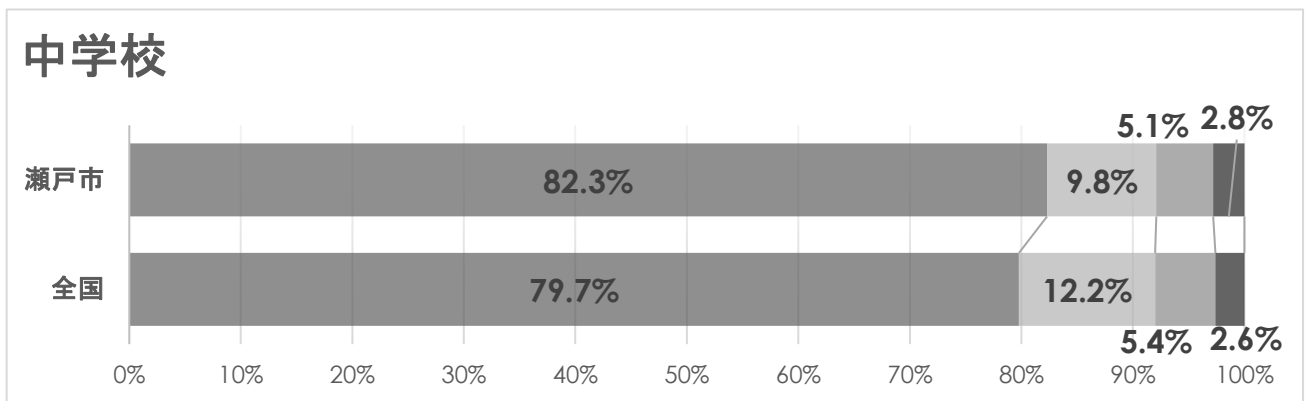
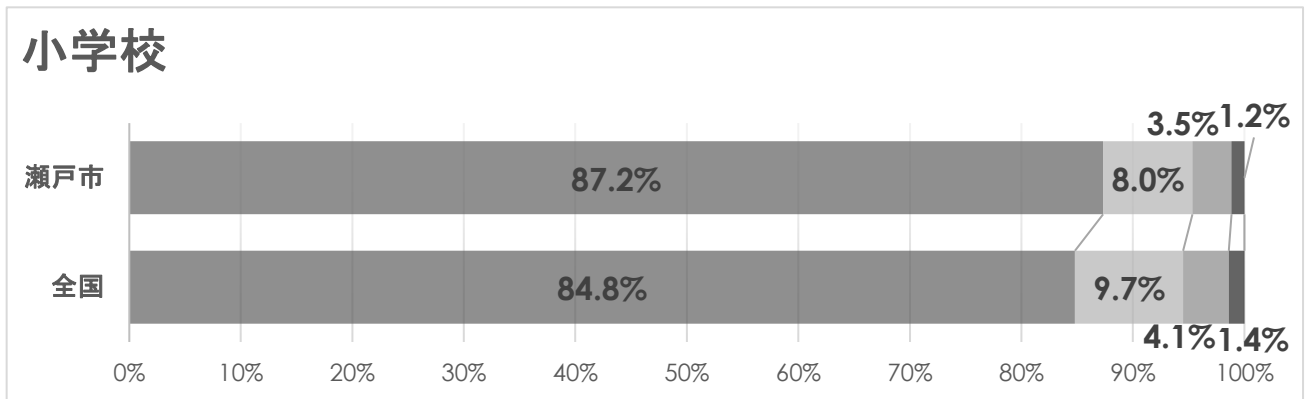


## 中学校

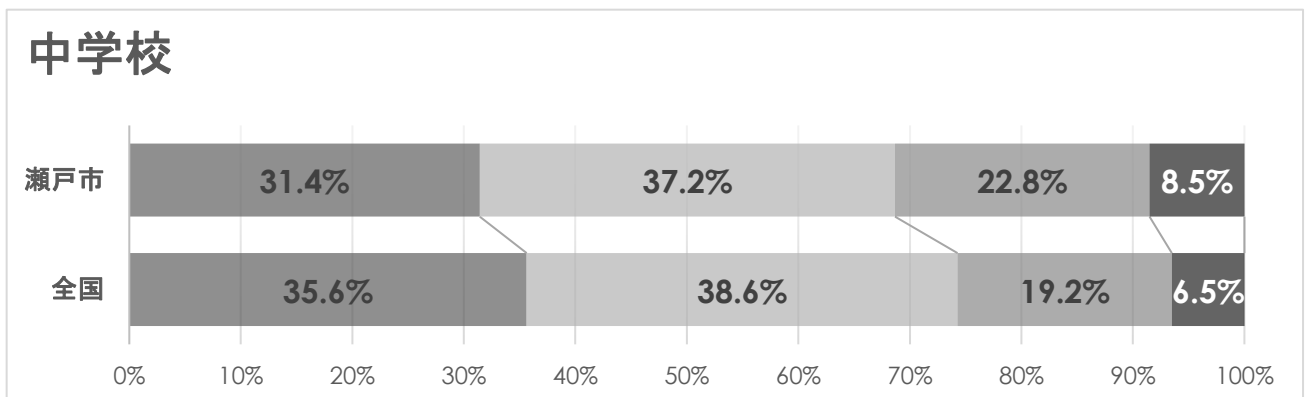
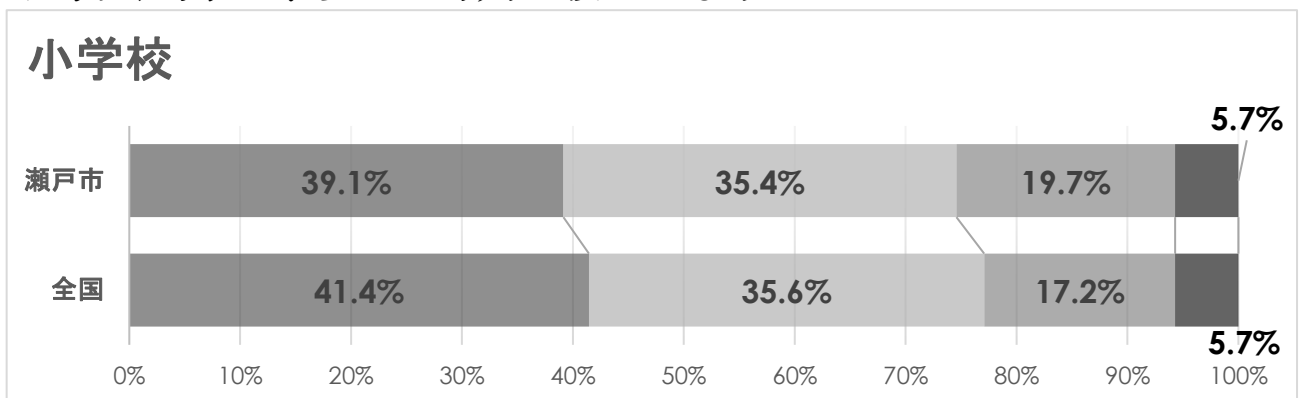


## 基本的生活習慣

### ◇朝食を毎日食べていますか

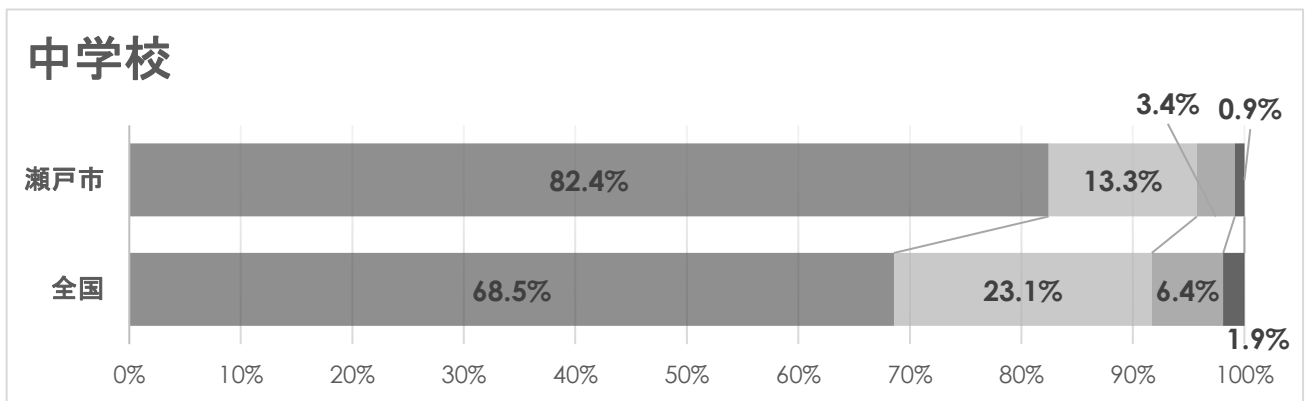
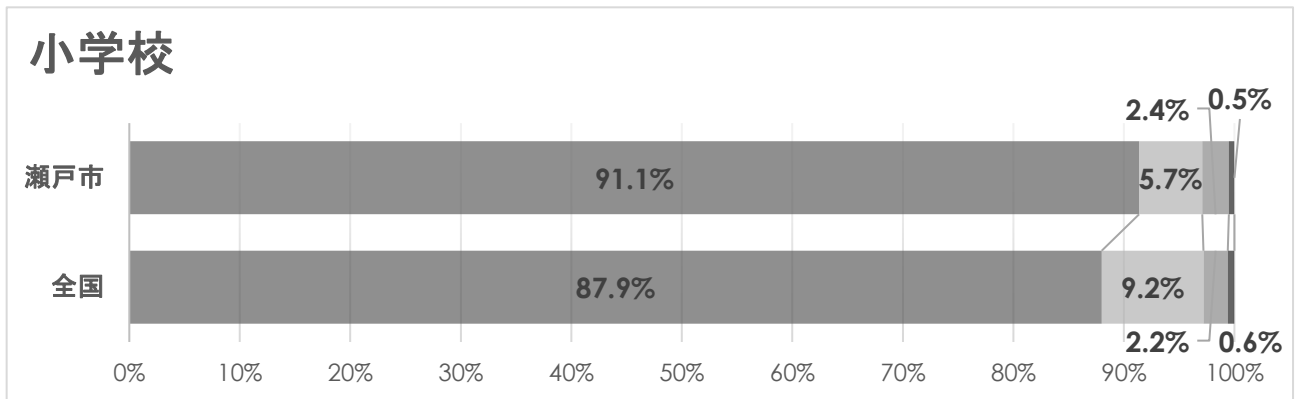


### ◇毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

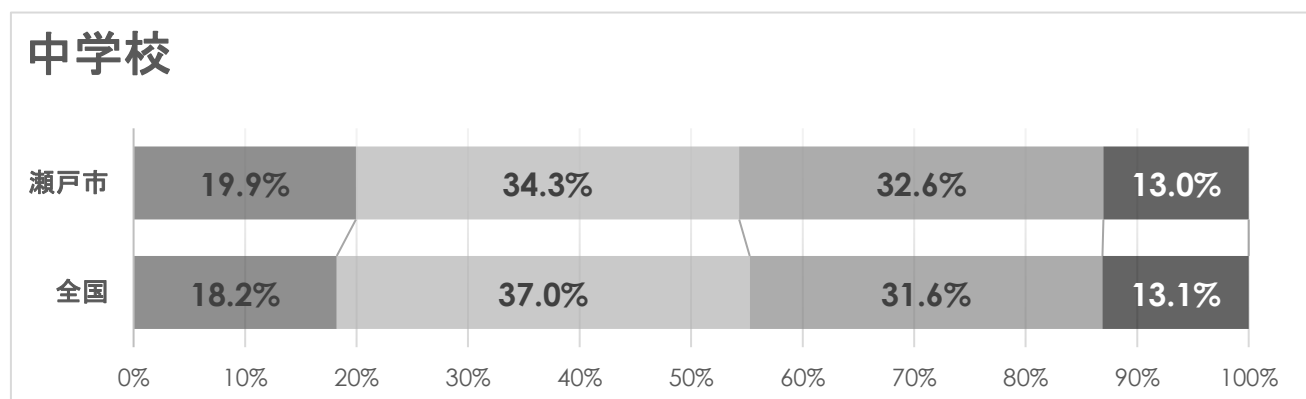
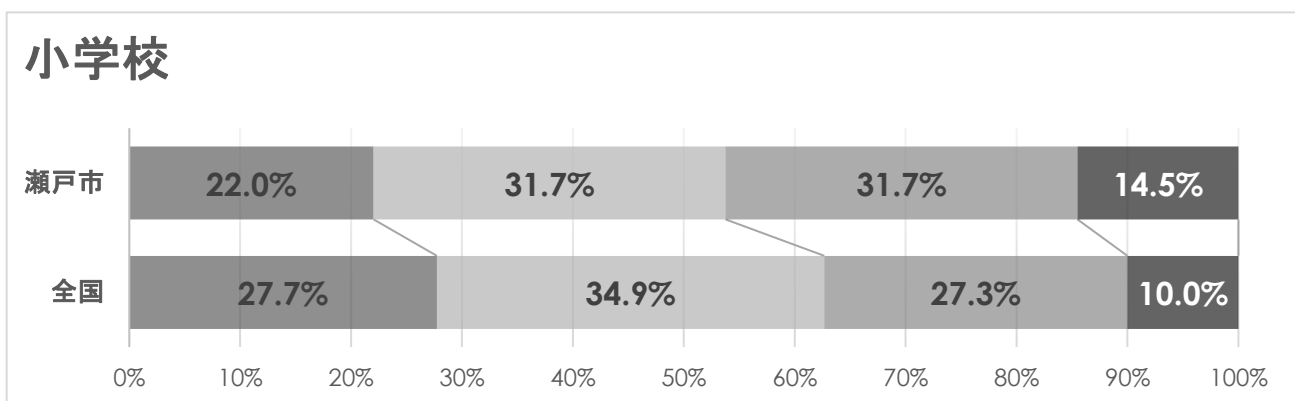


## 学習習慣

### ◇家で、学校の宿題をしていますか

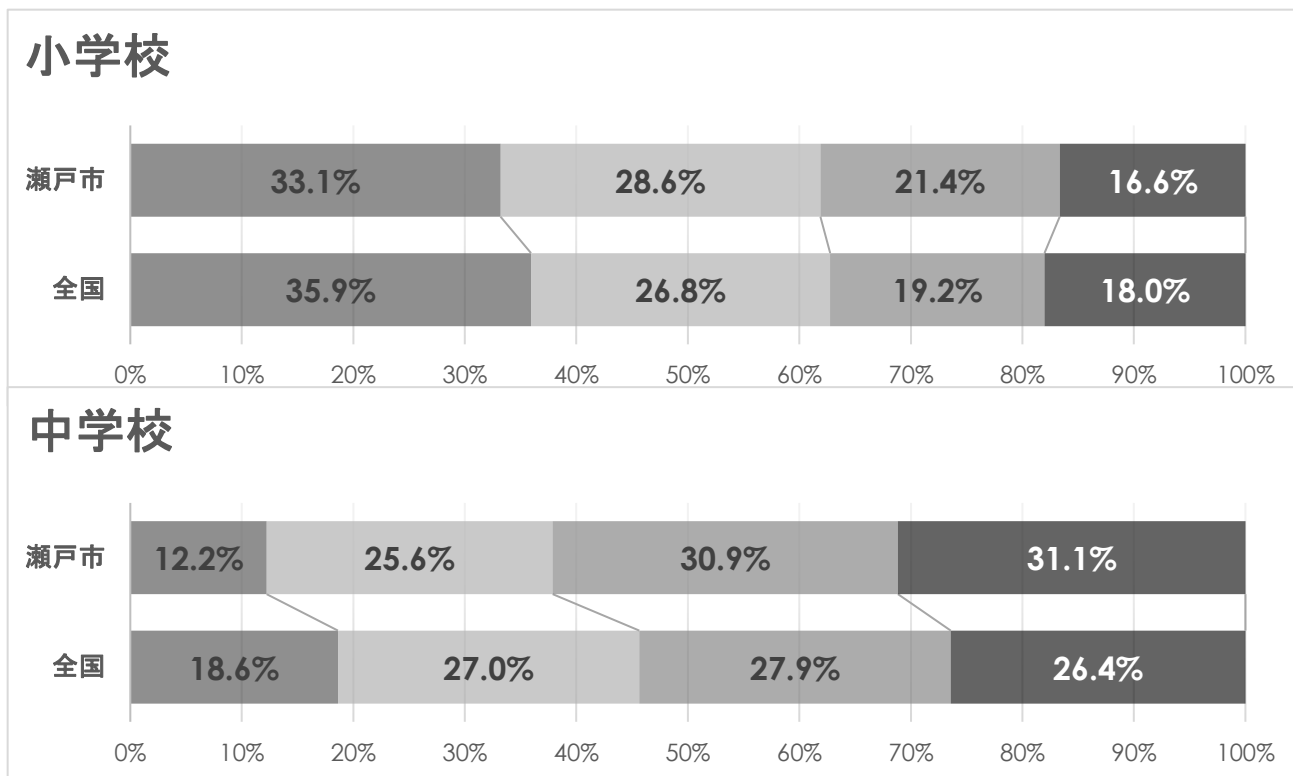


### ◇家で、学校の予習・復習をしていますか

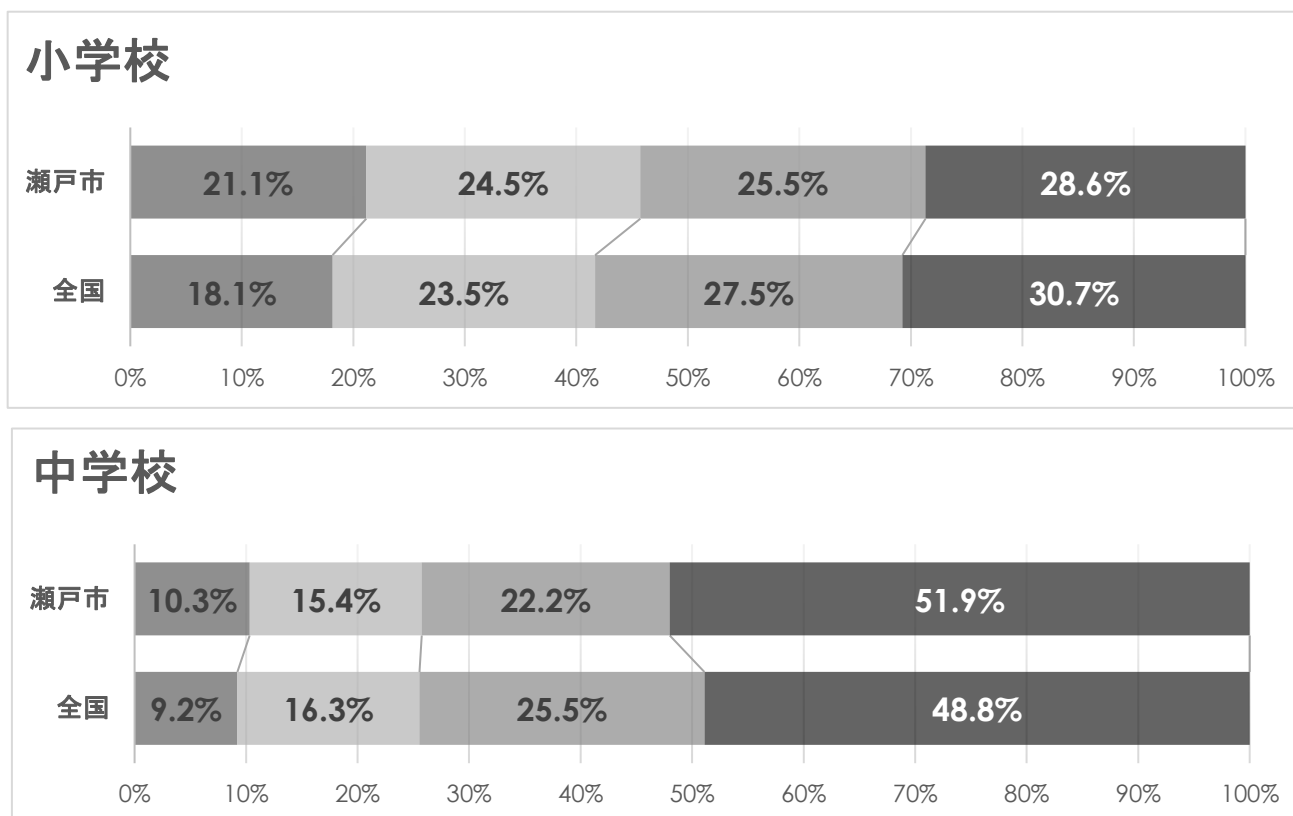


## 地域や社会との関わり

### ◇今住んでいる地域の行事に参加していますか



### ◇地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか



## 【瀬戸市内小中学生の「よさ（◎）」と「課題（▲）」】

<h3>子供達の意識</h3>
◎自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合は、29年度と比べ高くなっている。 ▲先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合は、29年度と比べ高くなっているものの、全国平均と比べると低くなっている。
<h3>基本的な生活習慣</h3>
◎朝食を毎日食べていると思う児童生徒の割合は、29年度に引き続き全国平均より高くなっている。 ▲毎日、同じくらいの時刻に寝ていると思う児童生徒の割合は、29年度、そして全国平均と比べても低くなっている。
<h3>学習習慣</h3>
◎家で、学校の宿題をしている児童生徒の割合は、29年度と比べるとやや低くなっているものの、高い割合を維持している。 ▲家で、学校の授業の予習・復習をしている児童生徒の割合は、29年度と比べると高くなっているものの、全国平均と比べると特に小学校が低くなっている。
<h3>地域や社会との関わり</h3>
◎地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、いっしょに遊んだりすることがある児童の割合は全国平均を上回っており、地域に見守られながら、安心して生活できていることが分かる。 ▲今住んでいる地域の行事に参加していると思う児童生徒の割合は、全国平均よりも低くなっている。

児童生徒の「よさ」をさらに伸ばすために、自分自身の「のび（成長）」をきちんと実感できるような場の設定や声かけを心がけることが大切です。また、放課後の過ごし方の特徴として、テレビやゲームなどを行っている児童生徒の割合が全国を上回っています。これが就寝時間の乱れの一因とも考えられるため、家庭での生活について見つめ直す機会が必要です。

学習面では、決められたことはできるものの、自主的・主体的に取り組むことが難しい傾向が見られます。子ども達が自ら進んで学習に取り組む工夫や環境づくりを進めます。また、地域や社会への関心を高め、子ども達が積極的に関わり合えるよう、学校・家庭・地域による連携強化を今後も続けていきます。

